

平成23年 大分県の宿泊客数

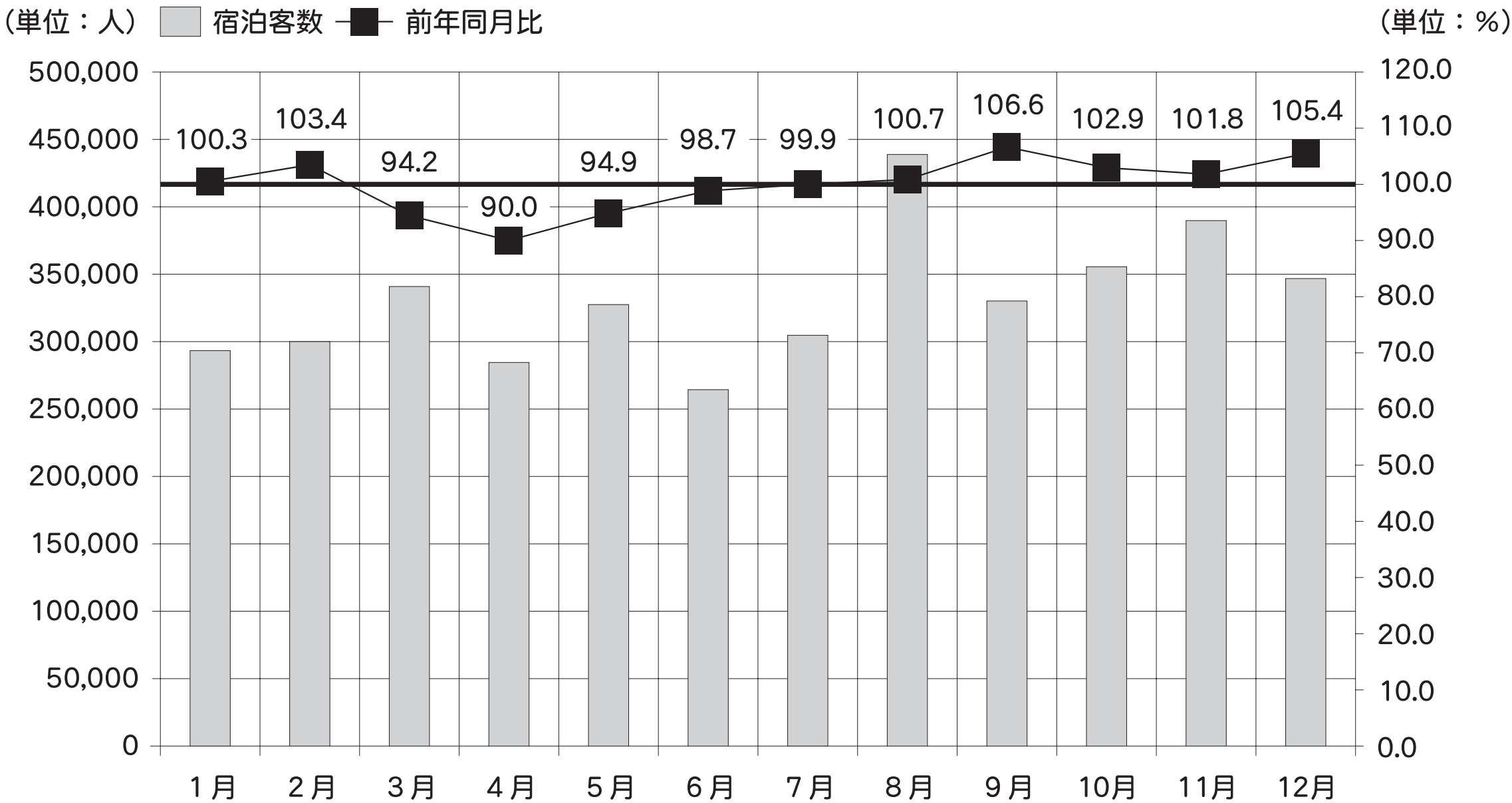
大分県企画振興部
観光・地域振興課まとめ

大分県企画振興部観光・地域振興課によると、同県の平成23年(1～12月)の宿泊客数は397万人で、前年比0・1%減だった。宿泊客の内訳は国内宿泊客が同3・7%増の275万人、外国人宿泊客が同38・1%減の23万人。東日本大震災により国内外とも一時減少したものの、「国内は西日本へのシフトから増加した」と同課。外国人客の減少については、円高の影響などもあって回復基調にならなかったと分析している。

震災で外国人客減少も、国内客増加

調査データ

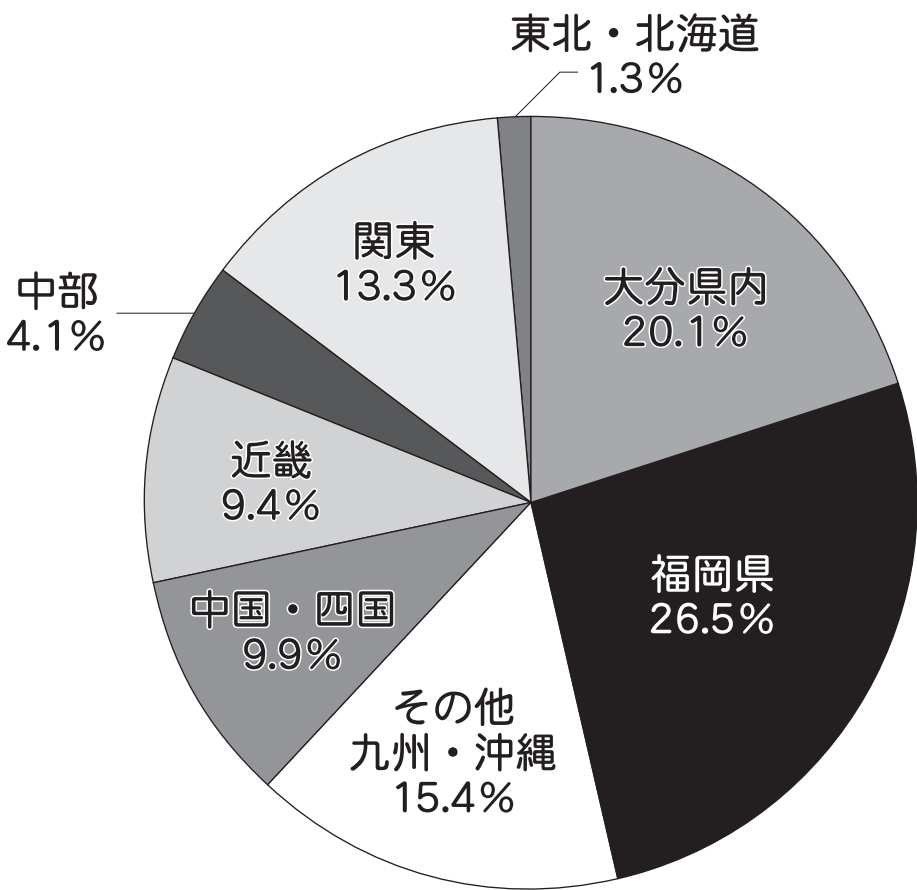
月別県内宿泊数(確報)



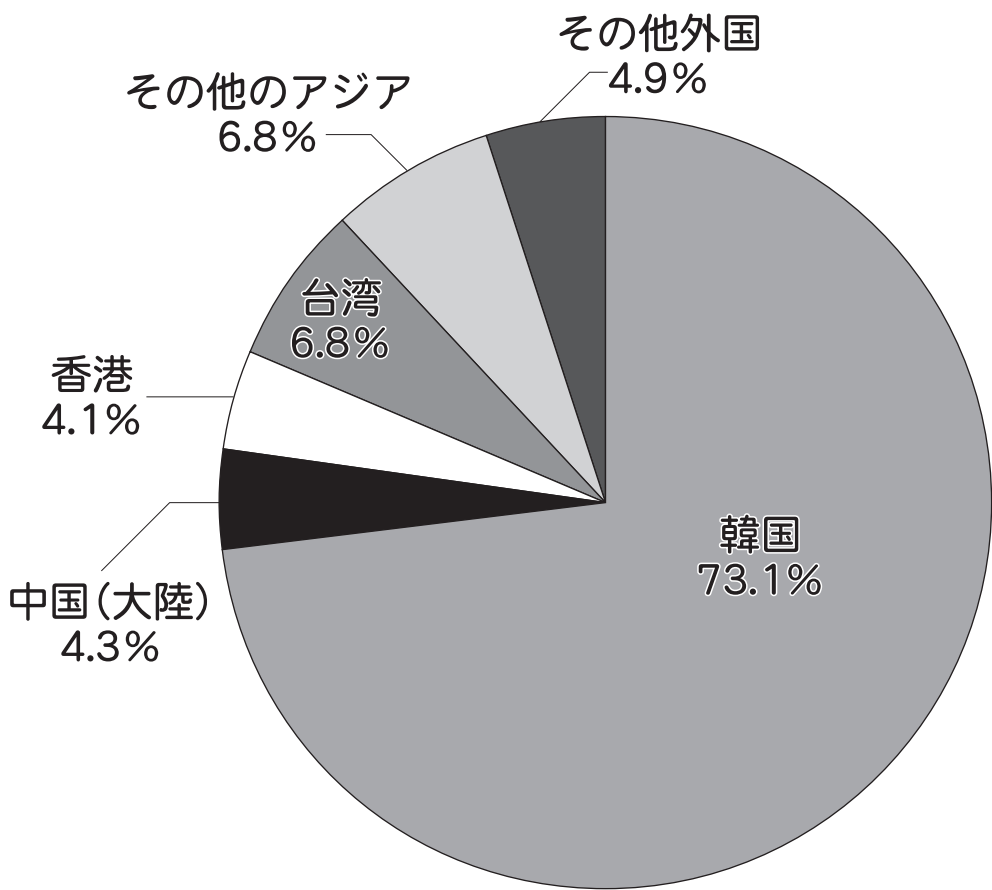
国内発地別宿泊客数

	宿泊客数(人)	前年比(%)
大分県内	754,395	+2.5
福岡県	990,832	+1.9
その他九州・沖縄	577,935	+0.8
中国・四国	369,016	+11.7
近畿	350,930	+13.4
中部	155,306	+6.0
関東	499,062	+1.9
東北・北海道	47,543	-11.6
国内宿泊客計	3,745,019	+3.7

国内宿泊客の構成比



外国人宿泊客の構成比



市町村別宿泊客数

	宿泊客数(人)	構成比(%)	前年比(%)
大分市	708,889	17.9	-0.1
別府市	1,914,245	48.2	-0.5
日田市	256,742	6.5	+2.9
竹田市	124,131	3.1	+0.4
由布市	281,713	7.1	+9.0
九重市	140,116	3.5	-5.4
その他の市町村	544,888	13.7	-3.2
県計	3,970,724	100.0	-0.1